

## C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	応急手当の普及・啓発事業		
事業開始年度	平成24年～	提案型	<input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ひらつか応急手当協力会	担当課名	消防救急課

### (1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・自主事業に取り組めるようになったのは大いに評価できる。今後ともイベントやあるいは企業などにも売り込んで大いに発展して欲しいです。
  - ・25年度講習会は163回、受講者数が述べ4,480人もいる。講習会は週に4回も行っていることになる。この事業は地域市民にとっても非常に有効であると思います。
  - ・25年度に自主事業を行ったことは団体としても成長したと感じます。
  - ・NPOが実施するセミナー、イベントは集客が課題だが、市の消防救急課が窓口となることで受講者が多く非常に効果的だと考える。
  - ・協働によりメンバーの増加や講習会への対応が向上したことは大きな成果と言える。
  - ・講習会を多く開催したいが人手不足だった行政と応急手当の普及啓発をしたい団体の協働で、多くの講習会が開催できた、また団体のスキルアップも図られたことが良かった。
  - ・会員数が増えることで講習会への対応がより可能になって良かった。
  - ・昨年度を上回った講習会数に協力会の皆様の積極的な姿勢が推察できます。団体、行政の相互協力が実を結んだ素晴らしい事業だと思います。

### (2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・ユニフォームの劣化を掲げていたが、消耗品の確保や交通費実費支給など必要経費を賄えるくらい団体の財政が安定することが望ましい。
  - ・協働を通じて団体が育った例だと思うので、団体として持続可能な制度を確立してほしい。
  - ・事業費のほとんどが交通費である点から、事業を継続するうえで、必要な資金の確保が重要な課題である。担当課と考えをうまくすりあわせながら行って欲しい。(特に広報、寄附が当面の課題)
  - ・県ではAEDの使い方を赤十字奉仕団と連携して行うことを検討している。防災への備えが十分すぎることはない。今後は赤十字との連携も視野にいれてはどうか。
  - ・今後の資金をどう担保していくか考えて欲しい。
  - ・行政の手伝いをしている感が拭えない。行政の協力も得て、講習会以外の活動も検討してほしい。
  - ・行政提案型協働事業なのでもう少し行政の積極的な取り組みが必要。
  - ・件数、受講者数も非常に増加していて団体が継続していけるか心配している。
  - ・生ごみ自家処理事業の協働事業終了後のスキームを参考にしてほしい。
  - ・自主財源確保を日常の活動の中で行うことは大変な困難を要すると思います。しかし、今後の自主的な活動の為には財源が必要です。賛助会員や寄付者を募ってはいかがでしょうか。
  - ・団体の自立のためには市民に周知されることが重要。行政が積極的に事業・団体のPRをすべき。

評価の流れ A：「自己」評価シート→ B：「相互」評価シート →

**C：審査会の意見**

## C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	外国籍市民支援放送事業		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	<input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	多文化共生ひらつか情報局	担当課名	文化・交流課

### (1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・地域のFM局で外国人支援のための多言語放送を事業として協働で行われていることは重要。
  - ・通常時と緊急時に分けて事業を企画している点は分かりやすい。情報の正確性の点にポイントを絞って協働に取り組んだことは良かったと思う。
  - ・団体の組織体制を整えられたことは評価できる。
  - ・事務局長を設けたこと、自主財源確保のため会員募集など組織の基盤強化に力を入れていることが良く理解できた。
  - ・賛助会員の募集を通じて財源の確保と協力者・理解者の増加を目指していることは望ましい。
  - ・事務局機能を強化している様子がうかがえた。
  - ・事務局長の確保など組織体制の強化を図られたことを評価します。
  - ・外国籍市民にとって重要な情報源の一つですので、今後も是非放送を継続してください。

### (2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・放送に対する反応はイベント等でPRするとともにアンケートを取るなどの方法を考えてみてはどうか。
  - ・組織の強化を図り、今後はさらなる行政との協力関係を強めていくことを願います。
  - ・自己評価では協働の視点③④で評価に相違がある。今後は行政との話し合いを十分に確保してほしい。事業終了後の資金調達についても検討を進めてください。
  - ・最初は協議がうまく進んでいなかったが乗り越えつつある点良かった。協議がうまくいかないケースも協働では多いので、その辺の苦労話や改善のきっかけなども報告で聞けたらよかった。
  - ・団体が外国籍市民向けの放送をしているだけで行政との協働がよく見えない。放送活動以外の一般市民にむけての働きかけなど活動の幅を広げられないか。
  - ・協働事業を担うには組織体制の強化が更に必要だと思う。
  - ・当初の協働事業のきっかけとなった災害情報の提供はどうなっているか。行政、団体共に検証が必要。災害時の対応をしっかりやるには個人ではなく組織としてのまとまりが必要。
  - ・活動を維持していくためには、自主財源の確保が必要ですので、今後も賛助会員の募集、イベント等での寄附者を募るなど積極的に続けて頂きたい。
  - ・受益者の満足度が計りにくいところがあるが、そこは丁寧に声を拾っていくことが大切です。情報は一方的に発信するだけでなく、双方向で享受できる形を作っていくと更に広がっていくと思う。

評価の流れ A:「自己」評価シート → B:「相互」評価シート →

C: 審査会の意見

## C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	食品の放射性物質簡易検査		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	<input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	NPO 法人 ひらつかエネルギーカフェ	担当課名	市民情報・相談課

### (1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・ 関心の風化という逆境にも関わらず事業としては定着してきているように思う。
  - ・ 単に測定を請け負うのではなく、勉強会を通じて学んだり、社会的意義を認識することにより、今後の事業の発展が感じられた。
  - ・ 団体の自主事業で事業の広報に繋がると思います。ただ、検査件数が少ないのが気になる。事業の必要性を市民に知らせる工夫が更に望まれます。
  - ・ 市民に放射能に対する安心感を与えた効果は大きい。
  - ・ 市民目線で市民の心配事に対応できることは親近感を持ってもらえることになり良い。
  - ・ 団体と行政互いの目的、目標が合致している。検査件数が減り1件当たりの単価が高くなっていますが、今後も継続していただきたい。

### (2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・ 広報やイベントに力を入れていくと中間報告でも聞いているが、次年度以降の具体的な計画を聞けるのを楽しみにしています。
  - ・ 不安感を強調するのは良くないかもしれないが、魚介類等への影響を個人的には心配している。上手くPRして事業に繋げてもらいたい。
  - ・ 事業の重要性は十分にあると思うが、検査件数が少ない点が気になる。プレゼンにもあったが意識の高い団体・組織とのコラボレーションをぜひ実現して欲しい。
  - ・ 件数が目標に達しなかった原因を単に風化とせず、活動をしっかり分析し今後どのような対応をするのか次年度に向けて具体的な案を検討する必要があるのでは。
  - ・ 協働推進課が公募で行う協働事業としてではなく委託事業で実施でもよいのでは。
  - ・ 原発事故による放射能問題が少しずつ風化する風潮の中で少しでも風化することのないように様々な取り組みを進めてほしい。特に測定場で直接啓発するような取り組みを考えてほしい。
  - ・ 事故から3年が経ち、市民の放射性物質への関心が薄れつつある現状だからこそ、本事業を継続していただき、広報等での市民への周知を図ってください。

評価の流れ A:「自己」評価シート → B:「相互」評価シート →

**C: 審査会の意見**

## C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	協働による地域づくり事業～地域の課題解決に向けた市民活動団体との連携 (ひらつか地域づくり市民大学)		
事業開始年度	平成 25 年～	提案型	<input type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	NPO 法人 湘南 NPO サポートセンター	担当課名	中央公民館 協働推進課

### (1) 良かった点 (さらに伸ばして欲しい点)

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など

- ・市、団体がベクトルを同じにするためには、意見交換が必要。そういった意味では会議を密に回数を重ねたことを評価できる。
- ・丁寧に意見交換されたことで事業がより明確になったのだと思う。
- ・提案当初はわかりにくい内容だったと思ったが、よくまとめられた事業になった。
- ・行政と団体との協議が十分行われ両者が同じ方向を向いて事業に取り組んだのが良かった。
- ・開催された講座はファシリテータの能力を活かしたものでした。団体、行政それぞれが特性を活かした事業だと評価します。

### (2) 課題の改善や今後への助言など

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど

- ・公民館等と協力して人材バンクを考えていくとのことだが、生涯学習系の人材登録にならないように注意が必要。生涯学習との住み分け、仕組み作りが必要。
- ・人材育成を目的としているが、そもそも1年の事業では人材育成は難しい。きっかけづくりでしかないのではないかと、今後の展開を考えて欲しい。
- ・人材育成は継続していくことが重要。
- ・人材育成は市民活動団体の永遠の課題だと思うので、期待している。今後もパートナーとして継続予定だということなので期待している。
- ・ほとんどが人件費なので協働事業として予算化していくことは難しいと思う。むしろこの1年がきっかけとなって個別事業として支援していくとのことなので形式としてその方がいい。
- ・地域づくりの新たな取り組みで期待している。行政と団体が「仲良くなる」のではなく、十分議論ができる関係であってほしい。
- ・地域課題の解決事例として地域猫と連携して取り組んでみてはいかがでしょう。
- ・市民が自らまちづくりを考えていくための素地として市民が地域課題を捉えられることが必要。そして、その課題をどのように解決していくか。そこにコーディネーターの力が必要になりますので、ぜひ人材育成を進めてください。

評価の流れ A：「自己」評価シート → B：「相互」評価シート →

**C：審査会の意見**

## C：審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A：自己評価シート」、「B：相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	「地域猫」への取り組み		
事業開始年度	平成23年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	平塚のら猫を減らす会	担当課名	環境政策課

### (1) 良かった点（さらに伸ばして欲しい点）

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・報告を聞くたびに協働の模範であると感じる。
  - ・平塚市の各地域からの問い合わせ相談に対応することは非常に御苦労もあるかと思うが存在意義があると思う。
  - ・地域猫活動を通じて地域の課題が顕在化し、これに対し各担当課と連携を取り解決に向けて取り組んだことは素晴らしい。
  - ・自治会、議員、行政、団体がそれぞれの強みを発揮している事例と言える。
  - ・この3年間の協働事業は、地域・行政・議会を巻き込む素晴らしい事業であると思う。平塚の協働事業の代表事例となるだろう。団体、担当課の方々の苦労に深く敬意を表します。
  - ・当該活動に団体・担当課以外の行政や自治会、議員など幅広い関係が築けている。
  - ・活動の成果としてパンフレット「地域猫活動」が作成できたことは素晴らしい。
  - ・団体、行政双方の利点を活かした協働事業として効果的な事業だと評価する。
  - ・地域問題も含んだ難しい事業だが今後も長く続けていただきたい。

### (2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・活動を通じて課題が次々に発見できたことは大いに意義がある。他市や他団体との交流を通じてあるいは団体内部の組織再編などにより解決への工夫を続けていることがとても評価できる。
  - ・後継者の育成、メンバーの若返りを期待します。
  - ・継続して行ってほしい。地域猫活動からまちづくりへと人材育成にもつながっていると思う。
  - ・後継者の育成にも是非力を入れて行って欲しい。
  - ・地域のコミュニケーション⇒自助⇒近助⇒共助へ。
  - ・猫問題は広範囲に及ぶようなので、今後も環境政策課が市役所内、各種団体間のコーディネーターとして頑張ってもらいたい。
  - ・協働のモデルとして更に分野を拡げて連携して取り組んでほしい。
  - ・市民がのら猫や地域猫の問題を一緒に考えるために更に広報活動を充実させていただきたい。
  - ・財源確保のために寄附者を拡げていただき、NPO法人、指定NPO法人を目指してほしい。

評価の流れ A：「自己」評価シート→ B：「相互」評価シート →

**C：審査会の意見**

## C : 審査会の意見

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	一般家庭での生ごみ自家処理推進事業		
事業開始年度	平成 23 年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	ごみを活かす会	担当課名	循環型社会推進課 (旧資源循環課)

### (1) 良かった点 (さらに伸ばして欲しい点)

- ※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など
- ・地道な活動だが着実に実践者が増えている。また担当課との連携も非常に上手くいっていると感じる。双方にとって大きな成果に繋がった。
  - ・これまでの成果をどのように広報していくのか今後も楽しみにしています。
  - ・当初はテーマのマニアック性から事業自体に不安があったが、報告を聞くたびに成果を上げてきていると感じる。単発のその場限りの事業ではなく、3年間のスパンで確実に成果が見えてきたという意味では協働として良い事例になっと思う。
  - ・人材育成はNPOの大きな課題と言える。講習会への参加者が実践者に成長した実績は協働の種が実を結んだと言える。
  - ・毎年度課題を見つけて新たな取組みを行ってきたことがよい。
  - ・地域講習会の参加者がH24比較で85%増となり活発な活動が伺える。また、ステップアップ講習会として相談員対象に実施していることも良い。
  - ・団体、行政それぞれの特性を活かした事業だと思います。

### (2) 課題の改善や今後への助言など

- ※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど
- ・相談員が活躍できる場づくりを今後の課題として取り組んでほしい。是非成功に結びつけてほしい。
  - ・協働事業は終了となるが今後の団体の財源確保を考えて欲しい。
  - ・協働事業が終了した後のことが気になっていたが、市としては相談員の登録制度、団体としてはイベントの開催など事業拡大を計画されていることがわかり安心した。
  - ・可能であればゴミ減量にどれだけ効果があったのかを知ることができると市民にPRしやすいのではないか。
  - ・ごみ減量化の活動の成果を減量の数値等で市民に示すことができると更によいと思います。
  - ・生ごみ自家処理実践者を増やすための広報活動を充実させていただきたい。

**C : 審査会の意見**

「協働事業報告書」、「決算報告書」、「A:自己評価シート」、「B:相互評価シート」、および、「報告会の内容」をもとに、ご記入ください。

事業名	里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立 (グラウンドワークの推進)		
事業開始年度	平成 23 年～	提案型	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
団体名	土屋里地里山再生グループ	担当課名	環境政策課

**(1) 良かった点 (さらに伸ばして欲しい点)**

※ 単独より協働でのメリットや、先駆性など事業の良い点・他事業も参考にして欲しい点など  
・ホームページ等で活動の様子を知っているが、参加した市民の方々はとても楽しまれているようだった。

**(2) 課題の改善や今後への助言など**

※ 改善して欲しい点や今後の事業展開へ向けてのアドバイスなど  
・様々な課題が残されているが素晴らしい活動なので是非自立した団体として里山保全とコミュニティビジネスの推進に寄与して欲しいです。  
・報告書は是非とも提出してください。  
・協働事業以前に、決まりを守らないと言う意識には失望しました。ルールはルールとして守らないと団体としての信頼性が無くなる。

評価の流れ A : 「自己」評価シート → B : 「相互」評価シート →

**C : 審査会の意見**